

昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら〜っと」教えてもらった。
先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、
“業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。
そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように
“運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。
目標は年度末の完成！（なんて、公言してイイんかなあ…）

第5回

これは、アクセスにあくせんす(悪戦す)る苦闘の日記である。(^^;)

前回までのあらすじ

ACCESSで業務処理を完成させる！と決意した野口は、システム部門の1年先輩に教えを乞う。先輩は毎回ヤキニクを奢ることを条件に、手取り足取り教えてくれることになった。
(^^;)ヤキニクイベントでゴマカシ列シテ…

既存の帳票から項目を3段階に分析するという手順によるテーブルの基本設計後に、やっとパソコン操作が始まった。教科書に書いてあるコトは、詳細に教えてくれないので不満そうな野口。途端にペースが速くなり戸惑う。果たして業務システム構築のゆくえは如何に？

8月×日

野口：「あのう、今日は何をやるんでしょうか…」

先輩：「何？その消極的な出かたは。業務システム構築の道半ばだよ、まだ。」

野口：「なんせ、前回テーブルがバババツとできちゃったんで、なんか拍子抜けしたんです。」

先輩：「まだまだこれからだって。今日は“リレーションシップ”から始めるよ。ほんとは前回やろうと思っていたのに、コーヒープレイクした後さっさとなくなっちゃうんだから。あの日のヤキニクはどうなったの？まるごとバナナだけだったじゃない。」

野口：「そのまるごとバナナ、丸ごと1個食べたのはだあれ？あれでカロリーオーバー寸前だったでしょ！焼肉は今後の楽しみということで、ねっ。」

先輩：「ギクッ！痛いところを突くなあ。まあ、それじゃ今日の説明をはじめるか…」

野口：「…(うまくいってぞっ、このまま授業料のコト忘れてくれるといいのになー)」(^^;)

先輩：「なんか言ったか？とにかくテキスト^(*1) 応用編の第2章『リレーションシップ』を開いて。」

*1) テキスト Microsoft Access2000 セミナーテキスト (初級編・応用編)
以降は、“テキスト”という場合はこれらを指します。

先輩：「『2. 1複数のテーブルを使用するには』をやってみよう。“受注リスト”テーブルの商品コードと“商品マスター”の商品コードが対応していて、商品名や単価などを商品マスターから引っ張ってくる、っていうような操作は以前にもやったことあるでしょ。」

野口：「クエリで情報を抽出したりするときに利用しますね。」

先輩：「ああいう構造が、テーブル間のリレーションシップを作成しておくことで実現するんだ。35ページのStep9の図をみてごらん。」

野口：「テーブルの主キーどうしが線でつながっていますね。」

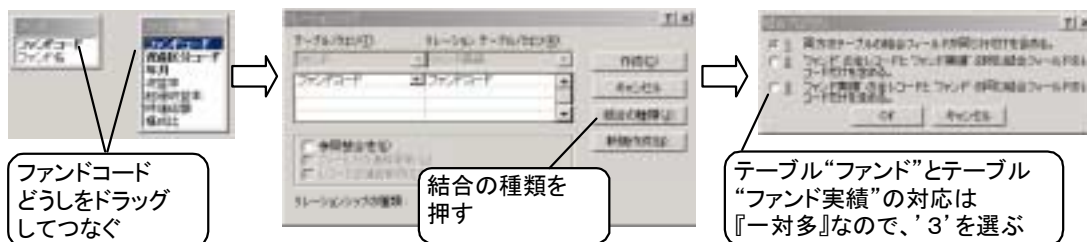
先輩：「このように、主キーどうしや主キーと外部キーをつないでつくるんだよ。やってみよう。」

野口：「またっ、簡単に言わないでくださいよ！手取り足取り優しくねっ♪m(. .)mオネガイマス」

先輩;「[ツール]-[リレーションシップ]の順で、
『テーブルの表示』画面が出たら、この中の
テーブルをShiftキーを使って“全部”指定し
よう。『追加』ボタンを押してください。」
野口;「テーブルが並びましたね。」



先輩;「まず、“ファンド”，“ファンド実績”を、32～34ページを見て、やってみて。」



野口;「矢印でつながりましたね。」

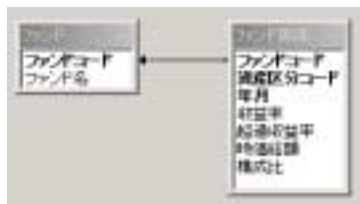
先輩;「これが、“ファンド実績”テーブルから
“ファンド”テーブルを参照する、というよう
な意味だよ。他の結合も全部作ってみて。」

野口;「全部ですか!？」

先輩;「当然! 図の配置にセンスがいるからね。
期待してマすよ。」

野口;「え〜!」(TT;)

— — — カタカタ, クルクル, カチカチ…(パソコンを操作する音) — — —



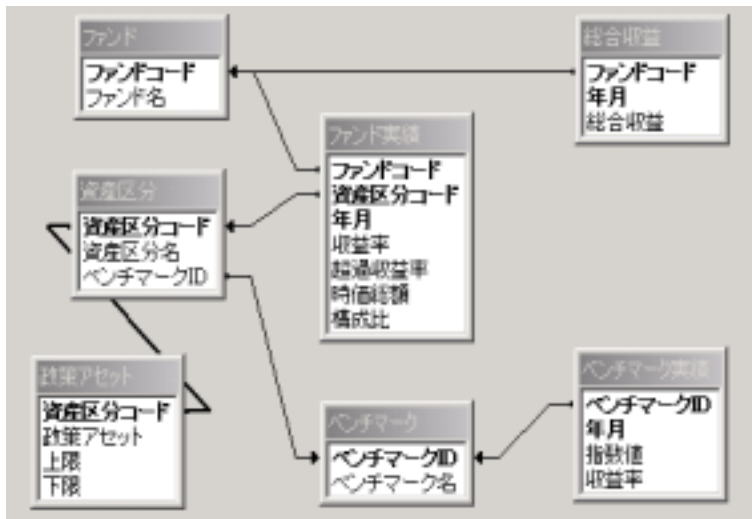
野口;「どうです!」(^o^)エヘン!!

先輩;「よくできてるじゃん。
“ファンド実績”を中心に
すっきりした形だね。」

野口;「一番使うテーブルを
真ん中にすると、線が
ごちゃごちゃしなくな
ります。」

先輩;「それじゃこの図で
テーブルの再設計を
するよ。」

野口;「な! な!
なんですとおお〜!」
(@_@;)アゼン



8月×日

野口;「先輩、おはようございます。」

先輩;「おはよう。なんか元気くない?」

野口;「だって、前回、せっかく作ったテーブルを再設計するなんて…今までの苦労はなんだったんだろうって…」

先輩;「おかげさだなあ。実際のシステム設計では、何十という帳票から洗い出した項目で、例の第3ステップまでの作業、～正規化っていうんだけど～を行ってから、テーブル間の関係を図にした上で初めてユーザーと“業務”の話を決める、ということをするんだ。決して無駄な作業じゃないんだよ。それにまだテーブルにデータだって入れてないじゃん。」

野口;「そおだけどねえ…」

先輩;「さあ、始めるよ。まず、図の(A)(B)の違和感だ。」

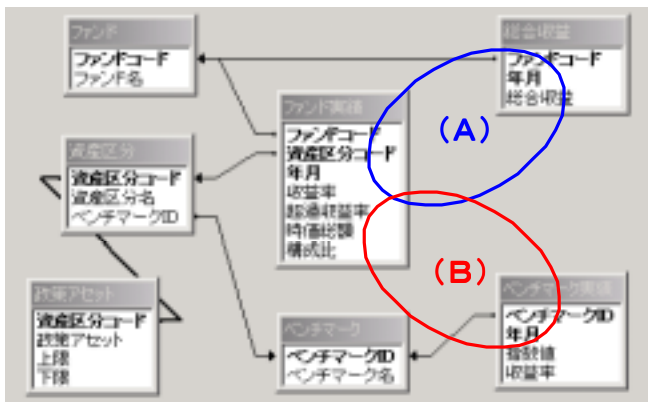
野口;「違和感?」

先輩;「“ファンド実績”と“総合収益”,
あるいは“ファンド実績”と“ベンチ
マーク実績”にはまったく関連が
ないのだろうか?ってことだよ。」野口;「ああ、そのことですか。それを
説明するなら、ちょっと別のExcel
表を見てもらったほうが分かって
表もらえると思うな。」

先輩;「なんだ、隠し玉があったのか。」

野口;「これなんですけどね。」

先輩;「説明してもらえる?」



ファンド コード	ファンド名	分コ ド	資産区分 名	年月	総合収益	収益率	ベンチ マークID	ベンチマ ーク名	(ベンチマ ーク) 収益率	超過収 益率	時価総額	構成比
1001	三ツ星信託	10	国内債券	200406		-0.85	1000	野村BPI	-0.86	0.00	236,169,600	19.2%
1001	三ツ星信託	30	国内株式	200406		4.38	3000	TOPIX配	4.43	-0.05	391,155,900	31.8%
1001	三ツ星信託	40	外国債券	200406		-1.11	4000	シティグル	-1.16	0.05	179,587,300	14.6%
1001	三ツ星信託	50	外国株式	200406		0.44	5000	MSCI KC	0.44	0.00	226,329,200	18.4%
1001	三ツ星信託	80	短期資金	200406							86,103,500	7.0%
1001	三ツ星信託	99	全資産合計	200406	14,526,000	1.18	9900	複合ベンチ	1.16	0.02	1,230,050,000	100.0%

野口;「この表は、データをテーブルに入れるときのために、通常の資料じゃなくて作業用として作り始めた表なんです。だから、コードとかIDとかそのまま表示してあるし、ある行では不要な項目も発生しちゃってるんです。黄色に塗ってあるところですね。」

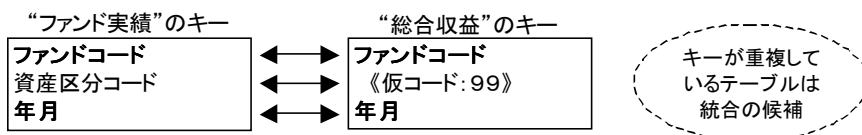
先輩;「なるほど。」

野口;「それで、まず(A)についてですが、表の“総合収益”って列は、ほとんど黄色に塗られているでしょ。」

先輩;「全資産合計の行だけ値が入っているね。」

野口;「つまり、その他の行では値がないわけじゃないけれど、実務上使わない。個々の資産の総合収益は、管理の対象外なんですね。だから、例えば毎月データを入力する業務があったとすると、“ファンド実績入力”の画面を想像すると『総合収益』を入力するフィールドは要らない。もしあると、全資産合計以外のデータのときに必ずEnterキーを叩かなきゃならないでしょう?」

先輩;「なるほど分かりました。ただ、この表で“全資産合計”の資産区分コードが“99”というように、便宜上かもしれないけど設定できるような場合は、“ファンド実績”と“総合収益”テーブルの統合は候補になるね。入力画面の件は工夫のしようがあると思うから、いっしょにしてしまおう。」



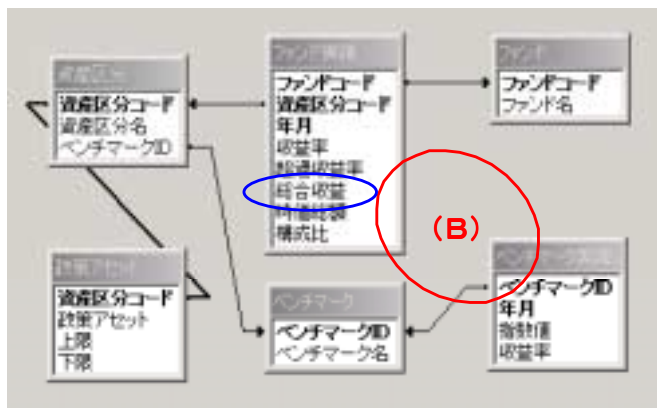
野口:「ずいぶん簡単に統合しちゃいましたね。」

先輩:「“ファンド実績”に総合収益を追加して、“総合収益”テーブルは削除したんだ。デザインだけのときの修正は簡単だよ。データが入っていたらこうはいかないね。」

野口:「なるほど。」

先輩:「さて、(B)を考えよう。ほんとに、この2つは独立した情報なの？」

野口:「もう一度再掲Excel表で説明しましょう。」



ファンドコード	ファンド名	分コード	資産区分名	年月	総合収益	収益率	ベンチマークID	ベンチマーク名	(ベンチマーク)収益率	超過収益率	時価総額	構成比
1001	三ツ星信託	10	国内債券	200406		-0.85	1000	野村BPI	-0.86	0.00	236,169,600	19.2%
1001	三ツ星信託	30	国内株式	200406		4.38	3000	TOPIX配	4.43	-0.05	391,155,900	31.8%
1001	三ツ星信託	40	外国債券	200406		-1.11	4000	シティグル	-1.16	0.05	179,587,300	14.6%
1001	三ツ星信託	50	外国株式	200406		0.44	5000	MSCI KC	0.44	0.00	226,329,200	18.4%
1001	三ツ星信託	80	短期資金	200406							86,103,500	7.0%
1001	三ツ星信託	99	全資産合計	200406	14,526,000	1.18	9900	複合ベンチ	1.16	0.02	1,230,050,000	100.0%

野口:「まず“超過収益率”について説明する必要があると思います。これは、ファンド実績の収益率とベンチマーク実績の収益率の差なんです。でも“ベンチマーク”の収益率はファンドごとにあるものではないし参照することになるんでしょうが、毎回過去の分を計算されるのも何か無駄なような気がしませんか？それで、もう各月ごとに超過収益率は手で計算して入力することにしたんです。それと、全資産合計の行に“複合ベンチ”ってあるでしょ、あれは各ファンドごとに資産別の構成比とベンチマークとで計算した加重平均なんです、本来のベンチマークとはキーが異なるんですよ。」

先輩:「なるほどね。聞いていくと、最初の分析になかったいろいろな項目が出てくるんだよね。まず、『過去の分を毎回計算する』っていうことへの疑問について答えようか。データベース設計では、教科書的には『計算で算出できる項目は外に出す』というのが原則だけど、でも実務的にはケース・バイ・ケースだね。すでに固まった実績はむやみに変えられるべきでない、だから毎回再計算なんて考えられない、という気持ちはよくわかる。ただ、もし入力したベンチマークに後日修正があったらどうなるの？影響する項目を洗い出して変更しないといけないね。そのへんとの“綱引き”で決めていくんだね。」

野口:「どうでしょうかねえ。」

先輩:「とりあえず、構成も小さいこのまま行こうか。実務的に後で手が入ることもあるよ。」

野口:「先輩！けっこうアバウトな人間なんですわねえ。」 (^_^;A HMMH...

先輩:「まあ、そう言わずに。今日はこのへんにしといて、そろそろヤキ…」

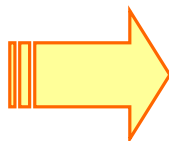
野口:「まだ朝のうちじゃないですか！ヤキがまわったかなあーって、ハイお・や・つ」

先輩:「なん…だ、〇マザキのオハギか♪」

野口:「時期ですからね。それに甘党でしょ？今熱いお茶いれてあげますから。」

先輩:「なん…か、ム、いつ…、ムグ、も…、ごまかされて、ン…」

野口:「…あ～あ、もう口にいれちゃってる…」



To be continued...

先輩:「今回は、テーブルにデータ格納するからね。テーブルのデザインに合わせてデータをExcelで作っておいてね。…モグモグ…」

野口:「え～！何て人使いの荒い…」

先輩:「文句を言わない！もう9月なんだゾ。業務構築がま・に・あ・う・の・かなあー♪」

野口:「ちえっ、人の弱みにつけ込んで～！わかりましたヨ。…あ～あ」 ㄣ(～;) ㄣヤレヤレ…

< コーヒーブレイク >

野:先日、ふすま紙を取り替えたんですよ。

先:自分で？仕事はできないくせに、そういうコトは得意だったのか。

野:違いますっ！実は、市の『シルバー人材派遣サービス』に頼んでみたんです。

先:リタイアした人がやるのかっ、大丈夫なの？

野:それが、もうビシッときれいに仕上がってできてきましたね。値段もずいぶん安かったし。

先:それはすごいね。まあ、自分のペースが守れるくらいの働き口として、腕に覚えのある人には都合の良いところかもしれないね。

野:現役の労働市場には脅威ですよ、あれは。その他に、庭の草取りとか、植木の手入れなども程度によりますが、派遣してくれるんですね。だんだん登録人材も増えるだろうし、役所は上前をハネたりはしないだろうから、割安な仕組みとして広がっていくだろうと思いますよ。

先:高度化して、『シルバーシステムサービス』が普及して、ボクの商売を圧迫しないだろうねえ。

野:ACCESSなど、一般向けのソフトで作れるものなら、安価でシステムを作ってくれる集団が出現をするかもしれませんね。

先:日本の労働市場は割高なの？

野:競争力って相対的なものだから、一概には言えないけど、最近では中国・インドなどをはじめとした安価な労働力を武器とした諸国が経済的にも台頭して脅威ですよ。

先:日本は知的集約産業で勝負していくのかな？

野:発展途上国の学生は日本よりはるかに勉強するしガッツもあるようですから、早晚技術的にも日本は遅れをとってしまう可能性がありますよ。

先:お先真っ暗じゃない。

野:悲観ばかりでなく、産業的には劣勢でも文化的にはこれから見るべきものがあるという人もいます。

先:へえ。やっぱり日本の伝統的文化か。

野:いいえ。その“伝統的文化”は前の世代が潰しちゃいましたね。“新”日本文化です。

先:もしかして、『ドラえもん』とか、そういった文化(?)のこと？

野:期待する人はいっぱいいます。数十年先、日本の経済の担い手は総代わりかもしれませんよ。

先:そんな時代でも、このおはぎの会社だけは潰れないでいてほしいな～。(^^;)